

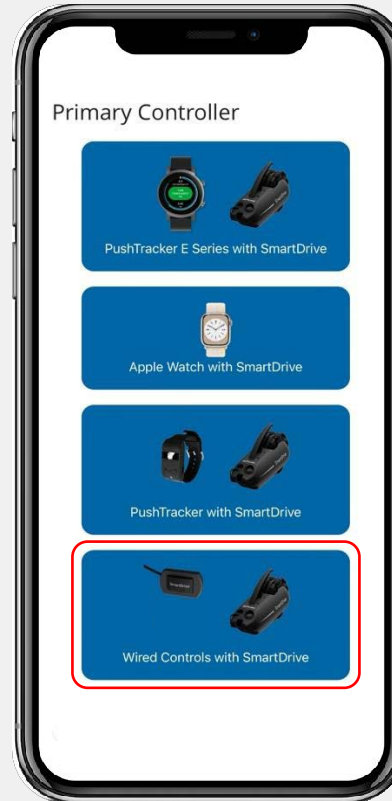
プログラミング

プログラミング - PushTrackerアプリ

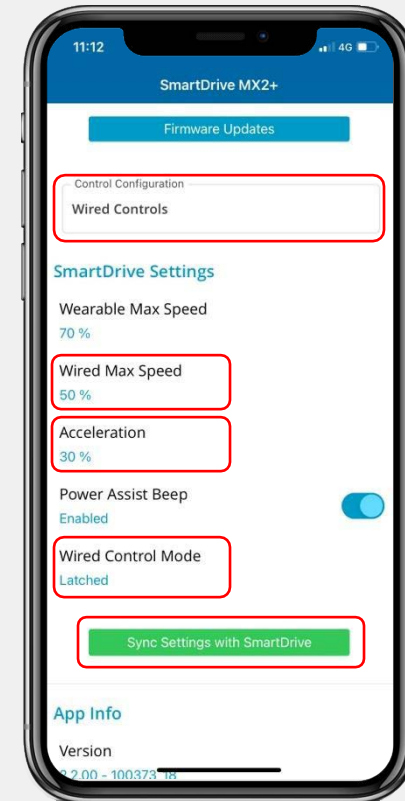
有線コントローラーの設定方法



PushTrackerアプリを開くか、Apple App StoreまたはGoogle Playストアからダウンロードしてください



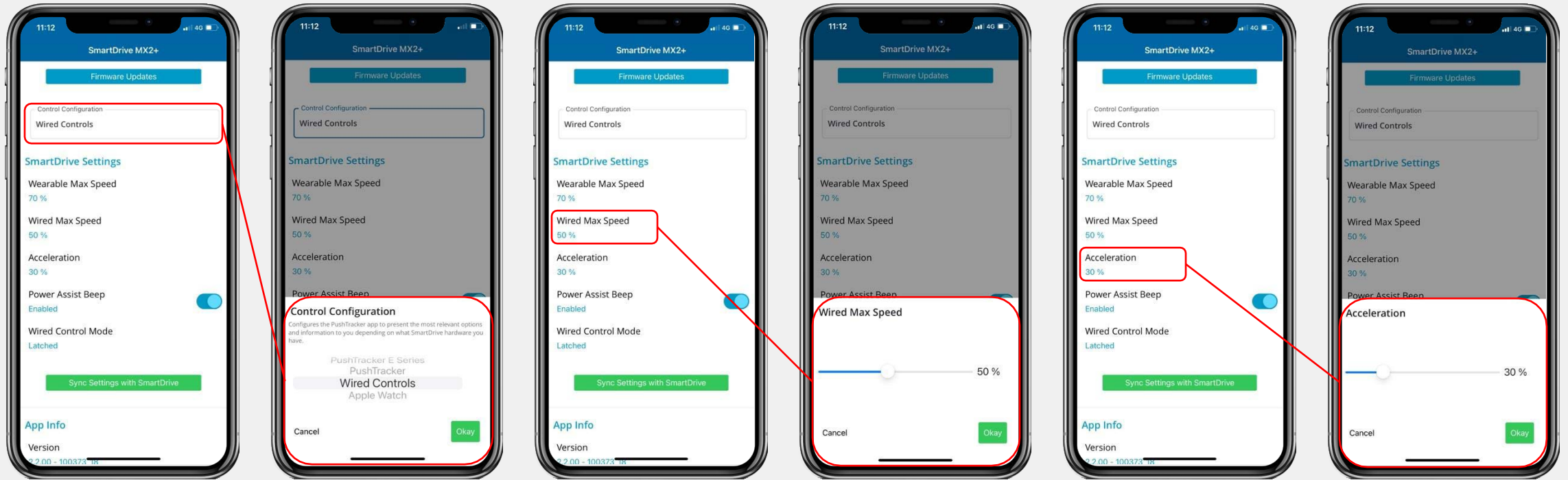
このアプリを初めてご利用になる場合は、デバイスの設定を促すメッセージが表示されます



1. 有線コントロール (Wired Controls) を選択
2. 必要に応じて設定を調整
3. SmartDriveと設定を同期
(スムーズに接続されない場合は、アプリを再起動してください)

プログラミング - PushTrackerアプリ

有線コントローラーの設定方法(詳細)



コントロール設定 (Wired Controls)

最大速度 (有線)

アクセラレーション

有線コントロールを選択して、SwitchControlの設定を調整します

最大速度を10～100%に設定すると、最大(電動)速度が
約0.9km/h～6.0km/hに設定されます

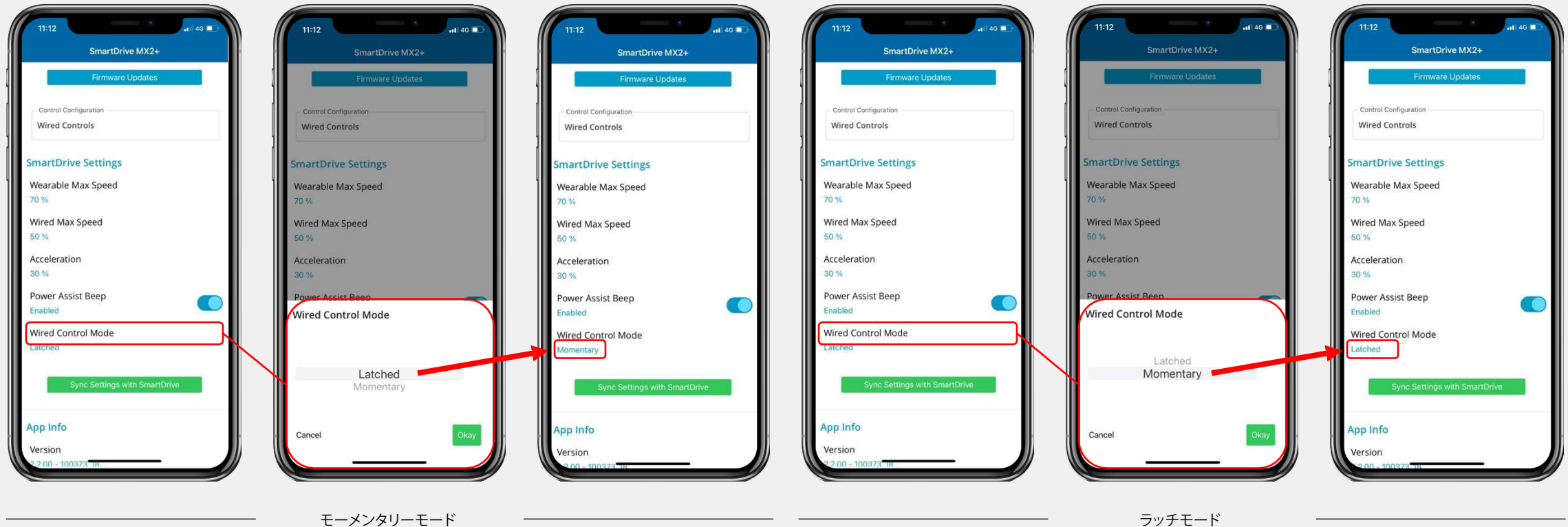
加速を10～100%に設定することで、最高速度に到達するまでの
速さが決まります。

プログラミング - PushTrackerアプリ

「ラッチモード」と「モーメンタリーモード」の切り替え方法



注:有線コントロールメニューでは現在、ラッチモード／モーメンタリーモードの設定が入れ替わっています。設定を確認するには概要画面／ホーム画面をご確認ください。



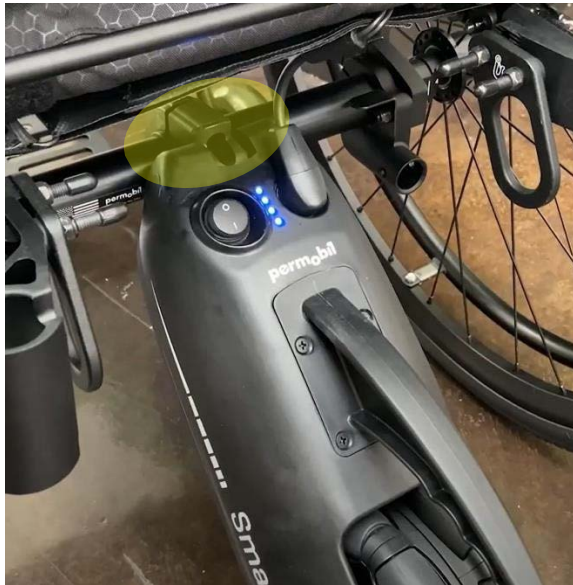
注:新しい設定をSmartDrive MX2+ユニットに確実に保存するため、**SmartDriveとの設定同期 (Sync Setting with Smart Drive)**を忘れないでください。

操作方法

操作方法 - SwitchControl

初期設定

SmartDrive MX2+ を取り付け



SwitchControlを充電口に接続



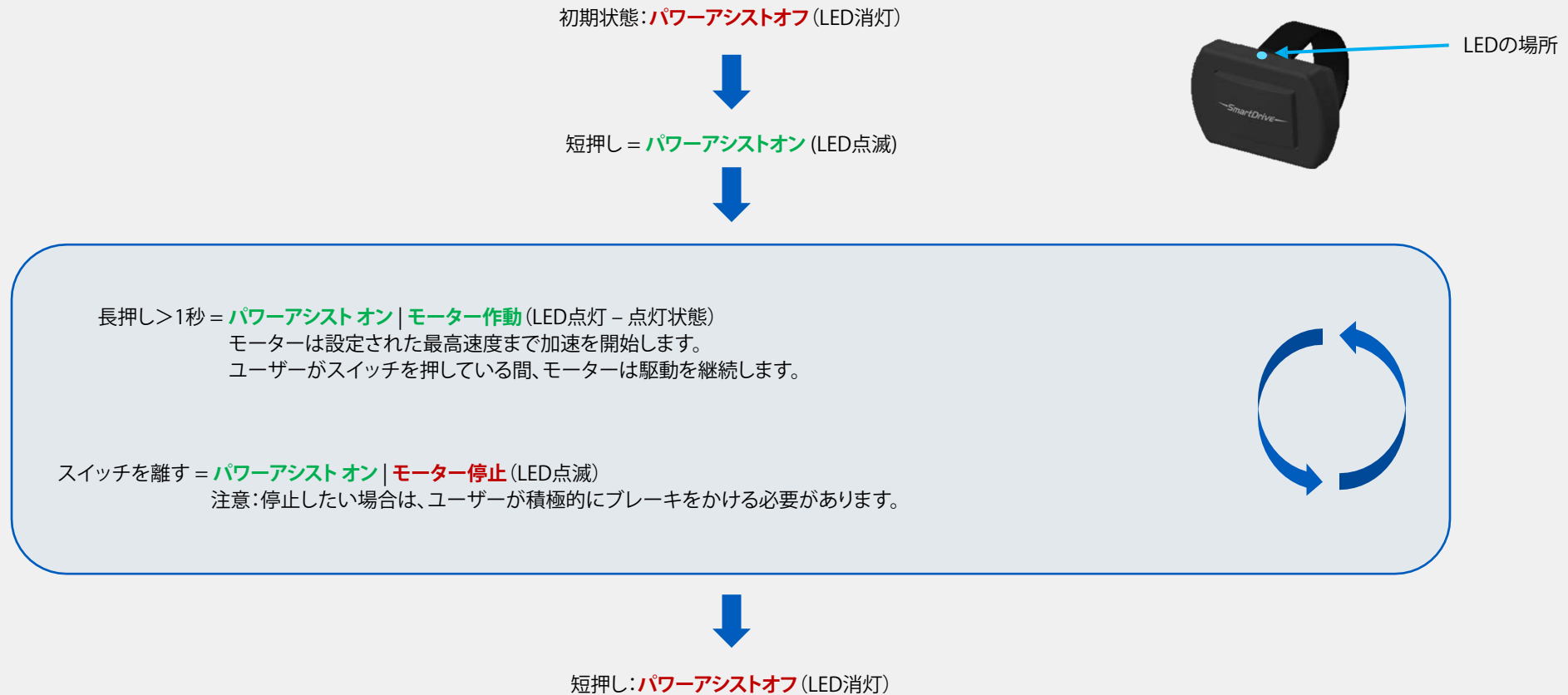
SmartDrive MX2+ の電源をオン



SwitchControlの操作方法

モーメンタリーモード – 「押して発進」

モーメンタリーモード: ボタンを押している間のみモーターが作動し、ボタンを離すと直ちに停止します。これはSwitchControlのデフォルト制御モードです。



SwitchControl (バディボタン付き)

例 - モーメンタリーモード - 「押して発進」



1. 短押しでパワーアシストをオン



LED点滅



2. 長押しで走行



LED点灯



3. ボタンを離すとモーターが停止
(注意: ハンドリムでブレーキをかけてください)



LED点滅

プロのコツ:

- バディボタンは SpeedControl Dial と同じ位置に設置でき、慣れ親しんだアクセスポイントを維持できます
- SwitchControl ボタンは、LED が容易に確認できる位置に設置すると便利です (バディボタンを使用する場合でも)

SwitchControlの操作方法

ラッチモード - 「クルーズコントロールモード」

ラッチモード: ボタンを押している間、モーターは徐々に速度を上げ、ボタンを離すとSmartDriveはこの速度を維持します。もう一度短く押すとモーターが停止します。

初期状態: **パワーアシストオフ** (LED消灯)



短押し = **パワーアシストオン** (LED点滅)



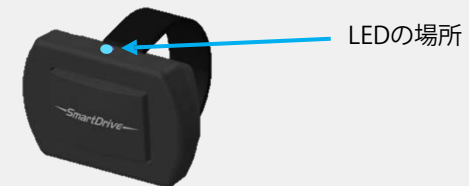
長押し > 1秒 = **パワーアシストオン** | **モーター作動** (LED点灯 - 点灯状態)
モーターは設定された最高速度まで加速を開始します。

スイッチを離す = **パワーアシストオン** | **モーター作動** (LED点灯 - 点灯状態)
モーターはこの速度を維持し続けます。

短押し = **パワーアシストオン** | **モーター停止** (LED点滅)
注意: 停止したい場合は、ユーザーが積極的にブレーキをかける必要があります。



短押し: **パワーアシストオフ** (LED消灯)



SwitchControl (バディボタン付き)

ラッチモード - 「クルーズコントロールモード」



1. 短押し
パワーアシストをオンにする



LED点滅



2. 長押し
任意の速度まで速度を上げる



LED点灯



3. ボタンを離す
速度の固定、走行の継続



LED点灯



4. 短押し
モーターを停止する



LED点滅

プロのコツ: - バディボタンは SpeedControl Dial と同じ位置に設置でき、慣れ親しんだアクセスポイントを維持できます
- ラッチモードはアクティブなユーザーに最適です。速度設定後(ステップ3)は両手を自由に操作に使えるためです

比較表

SpeedControl Dialに最も近い機能的な代替品

SpeedControl Dial vs SwitchControl (ラッチモード)



SpeedControl Dial (リコール対象)

SwitchControl/バディボタン付き (ラッチモード)

物理的アクセス

通常はフレームに取り付けられます



バディボタンオプションは同じサイズで、操作に必要な手の機能がさらに少なく済みます (押すだけ)

取付金具

車椅子フレームに直接取付、または延長アーム付き



インターフェースプレートを使用すれば、基本的に同じ金具で取り付け可能。車椅子フレームへの直接取付、または延長アーム上への取付のいずれにも対応

触覚フィードバック

オン/オフ/停止用ボタン操作



バディボタンによる優れた触覚および聴覚フィードバック (クリック音) を提供

クルーズコントロール

前方へ回すとラッチドライブ



長押しするとラッチドライブ

速度変更

[前方回転] で高速設定
[後方回転] で低速設定



[長押し & 離し] で高速設定
[短押し] | [ブレーキで減速] | [長押し & 離し] で低速設定

信頼性

接続が断続的に途切れる問題が発生する可能性があり、意図しない動作や継続的な駆動を引き起こす恐れがあります



SpeedControl Dialで発見された設計上の問題は、通信方式が異なるSwitchControlには影響しません。さらに、SwitchControlのボタン1つに不具合が生じた場合でも、もう一方のボタンは安全に使用を継続できます